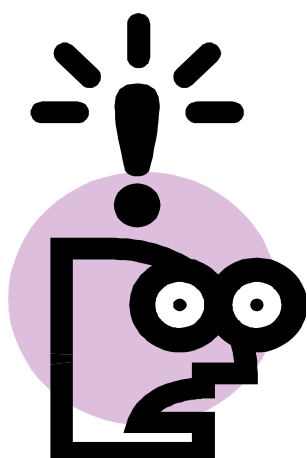


最新切抜きトピックス

近くて手軽、マカオに脚光
【日経MJ 08. 4. 4】



中国の特別行政区「マカオ」観光がブームになりそうだ。大規模な、ホテルやカジノが続々開業する一方、中国とポルトガルの影響を、色濃く残した世界遺産登録の歴史的な町並みも楽しめます。日本からわずか「4～5時間」と週末でも行ける手軽さが人気の秘密だ。定期便やチャーター便が相次ぎ就航し、観光客は3割増のペースで、伸びている。円高(ドル安)基調も追い風となり、「週末はマカオを満喫」する人が急増しそうだ。

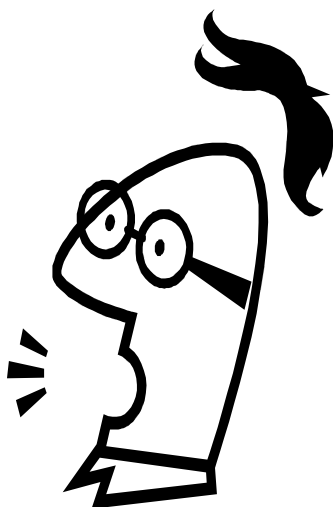


《 マカオのカジノ街 》

自然と紡ぐ「食の物語」
【日経MJ 08. 4. 13】

百貨店のバイヤーが思わずうなる、こだわりの食品を販売する店が岡山県倉敷市にある。「おいしいものブティック 平翠軒(へいすいけん)」だ。仕掛けたのは明治創業の造り酒屋、森田酒造社長の森田昭一郎(66)。「人と自然が向き合い、交わって生まれた食べ物を集めた店を作りたい」食の安全・安心に対する消費者意識の高まりを追い風に、平翠軒発の商品は百貨店にも並び、全国に広がっている。

海外旅行は、良いですね！！
気分が晴れてヤナコト、辛い事を忘れさせてくれる、ビタミンCみたいな！？
私も1回だけですがカジノに行った事がありとても感動いたしました！！
今度行ったときは、勝つゾ……………！！



各地の良質な食べ物を販売する平翠軒店主の森田昭一郎さん(岡山県倉敷市)

こだわりの食材、地の特産など面白いものがありますよね！！
うちの家の近くにも名産商品があります。そういう商品を集めるのも心ときめくかも！！

窪野正直